

# 第9回「シキ車」特集

物流博物館では、昭和20～50年代の物流に関する映画フィルムやビデオ作品を収蔵しており、殆どのフィルム作品がデジタル化されています。2017年度から収蔵資料を中心に映像作品を選び、テーマを定めて毎月上映会を開催しています。



「68の車輪」より



「超重量に挑む-500 トントレーラとシキ611」より

2020年 **1月26日(日)** 第1回：10時30分～12時00分  
第2回：13時30分～15時00分  
第3回：15時30分～17時00分

※下記作品を1日3回上映します。予約は不要です。 ※参加費は無料ですが、別途入館料が必要です。

<上映作品> ※すべてデジタルリマスター版による上映です。

## ①「380トンジンボール」

1961年頃/カラー/21分/企画：日本通運(株)/製作：新潟映画社/製作スタッフ：不明

内容：東北電力・新新潟変電所へ納入された日立製作所国分工場製250トン変圧器輸送の記録。変圧器は日立港から海上輸送され新潟港に設置された380トンジンボールによって水切りが行われ、280トン積みの大物貨車シキ700に積載、磐越西線・馬下駅まで輸送。最後は変電所まで約2kmの距離をコロ曳きされた。各種の重量品輸送の作業を見ることができる作品。

## ②「68の車輪」

1965年/カラー/33分/企画：日本通運(株)/製作：東京シネマ

製作：岡田桑三/演出：森田実/脚本：吉見泰/音楽：山本直純/解説：城達也

内容：当時最大級の重量280トンの変圧器を輸送する行程を記録した映画。千葉県・柏駅まで超大型変圧器輸送専用貨車シキ700で鉄道輸送し、柏駅で300トン・シュナーベル式トレーラに積み替え、野田市郊外の東京電力東東京変電所まで、17キロ半の行程を5日間かけて輸送するようすを描く。

## ③「超重量に挑む-500 トントレーラとシキ611」

1971年/カラー/21分/製作：電通・電通映画社/企画：日本通運(株)

製作：武井雅敏/脚本・演出：京極高英/撮影：加藤和郎/作曲：深沢康雄

内容：重電機器類の大型化にともない、1971年に新たに開発された500トントレーラと、重量品専用貨車シキ611による大型変圧器輸送のようすを描く。

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】毎週月曜日・毎月第4火曜日(これらが祝日・振替休日の場合開館)、祝日の翌日、2019年12月23日(月)～2020年1月10日(金)、展示替等期間

【入館料】高校生以上200円/65歳以上100円/中学生以下無料 \*団体20名以上半額

**物流博物館**  
MUSEUM OF LOGISTICS

〒108-0074 東京都港区高輪4-7-15  
TEL 03(3280)1616  
http://www.lmuse.or.jp

